

アカガシ（萌芽）

[木本] 《嗜好》



葉は厚く硬い。



裏面の葉脈は浮き出る。



大木の皮目はまだらに剥げる。

区別のポイント

樹皮は灰色または灰褐色で皮目は目立たないがまだらに割れ目が入る。堅果は長さ2cmの卵球形で、殻斗は同心円状の輪が並ぶ。葉の縁は普通は全縁。暖帯の標高の高いところに生える。

形態 常緑高木。高さ20m。

分布 本州（宮城県・新潟県以西）・四国・九州

名前の由来 材が淡紅褐色のことから。

葉 **〈全体〉**長さ7～15cm、幅3～5cmの長楕円形で硬い革質。表面は濃緑色、裏面は淡緑色で葉脈が浮き出る。

〈付き方〉互生。

〈基部〉広いくさび形。

〈葉先〉長く尖る。

〈縁〉全縁または少し波打つ。

備考

出典 14